

## 学長選考会議による学長の業務執行状況の検証結果について

### ○検証の観点

1. 山梨大学の教育研究・経営の最高責任者として優れたリーダーシップを発揮しているか
2. 本学の個性と特色を発揮するための明確なビジョンを示し、それを実現しているか
3. グローバル化社会で活躍できる有為な人材を育成し、世界に発信できる高度な研究を推進しているか
4. 教育研究を通じて、さまざまなニーズに応えつつ社会貢献を推進しているか
5. 構成員の意欲と創意を引き出し、本学の人的資源を最大限に生かしているか

### ○検証資料等

- ・所信表明書（就任時（平成27年）、再任時（平成31年））
- ・令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書（学外公表）
- ・令和2年度監査結果報告書（山梨大学監事報告）
- ・面談（令和3年9月28日実施）

上記、検証の観点に基づき、検証資料及び面談により検証した結果、令和2事業年度に係る業務において、すべての項目が順調進んでおり、それらの取組の中でも注目事項として、

- ・「一般社団法人アライアンスやまなし」が全国初となる「大学等連携推進法人」の認定を受けたこと
- ・新型コロナウイルス感染症に対する様々な対応を迅速に指示するなど、強いリーダーシップを発揮していること
- ・地域人材養成センターの新設により、地域連携に係る機能集約、地域大学間連携の強化を行ったこと
- ・昨年度に引き続き市場調査チームの活動により、経費削減を行ったこと
- ・地域振興研究プロジェクトの推進（クリスタル科学、ワイン科学、健康長寿社会に貢献する研究）及び山梨GLIAセンターにおける先端脳科学研究において大きな成果を上げたこと

などが挙げられ、大学改革・大学運営に関し、大きな成果を上げていることから、令和2年度の学長の業務執行状況は、総合的見地から良好と判断する。

令和3年9月28日

山梨大学学長選考会議